

グリーティング

春から初夏にかけて、ツバメの巣作り、そして子育てに思いがけない良い時間をすごしました。習性を知りたくて、ツバメ関連の本を読んだりユーチューブで情報をもったり、モチーフを集めて楽しんだり。身近なものに興味を持てば暮らしが豊かになることを学んだのでした。そして、その学びには、本が役に立つことを改めて知りました。読書は好きですが、もっと本を読もう、もっと本を好きになろうと思っています。

季節は秋、読書の秋、そう、いつも読みかけの本がある暮らしを——つい最近決めたのでした。そして、びっくりする様な図書館がある事も知りました。温泉を巡る旅もいいけれど、各地の素晴らしい図書館をたづねる旅もいいなと思っています。 S. K



角川武蔵野ミュージアム内の8mの巨大本棚。本の内容が一瞬に飛び出し劇場に変わるというビックリ図書館。

技工情報

◎マウスガードの調整後の処理方法について

マウスガードやマウスピースの素材は『エチレン酢酸ビニル(EVA)』の為、通常の研磨、艶出しという工程での表面処理はできません。

この為、調整後のEVAは、機械的な仕上げ方法ではなく、溶剤(マウスガードフィニッシャー)による艶出しの方法を行います。

<形態修正後の艶出しの工程>



カーバイトバーを用い、カット面を形態修正します。



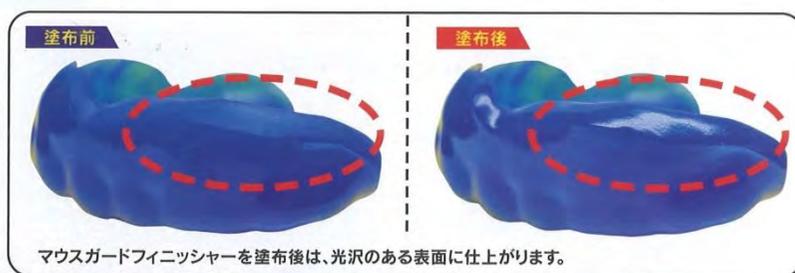
ウレタンピッグを用い研磨します。



マウスガードホイールを用いて研磨し、さらに滑らかにします。



綿棒を用いてマウスガードフィニッシャーを塗布します。



マウスガードフィニッシャーを塗布後は、光沢のある表面に仕上がります。

<各工程の注意点>

- 1) カーバイトバー
 - ・回転速度は低速回転(～10,000rpm程度)
 - ・往復させずに一方方向に動かすことにより、食いつきが少なく綺麗に仕上がる事ができます。
- 2) ウレタンピッグ
 - ・カーバイトバーで切削した箇所を低速回転(～10,000rpm程度)で滑らかに移行的にします。
- 3) マウスガードホイール
 - ・低速回転(5,000rpm程度)で、ソフトタッチでできるだけなめらかに仕上がります。
- 4) マウスガードフィニッシャー
 - ・溶剤は多目に綿棒に塗布し、ソフトタッチで行います。
 - ・マウスガードの表面が溶けて、若干のヌメリが出てきます。
 - ・そこにもう一度、溶剤を塗布(あまり擦らない)すると、光滑が出てきます。

◎マウスガードフィニッシャーの使用上の注意点

かなり強力な溶剤ですので、レジン等のプラスチック、樹脂、ゴム等を溶かしてしまいます。

その為、使用する綿棒の軸は、紙製の物を使用して下さい。プラスチック製の軸の綿棒を使用しますと、軸が溶解して色移りなどが起きてしまう可能性があります。